

三番瀬・海辺のボランティア講座

「ワカメで海をきれいにしよう」

2010年12月18日(土)

場所／三番瀬塩浜案内所 人工干潟沖

<スケジュール>

- 9 : 3 0 集合、レクチャー、移動
- 1 0 : 0 0 行徳漁協前でワカメの芽はさみこみ
- 1 1 : 0 0 船に乗ってロープ張りだし
- 1 2 : 0 0 移動、まとめ
- 1 2 : 3 0 終了

主催／特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター

No.13 ワカメで海をきれいにしよう

2010.12.18 ワカメは赤潮の素になるリンや窒素などの栄養塩を利用して生育します。干潟の三番瀬には本来はワカメは生育しませんが、海をきれいにするために毎年養殖をしています。

ワカメはどんな植物だろう

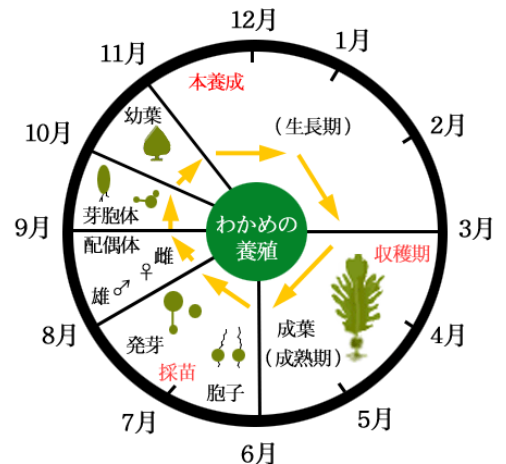
ワカメはコンブと同じく褐藻類コンブ目の海藻で、2倍もの大きさになります。日本近海とその周辺の温帯海域に広く分布しています。昔から食用として天然物が栽培されてきましたが、今市場に出回っているワカメの90%が養殖です。

私たちがよく知っているアマモと比べてみると、アマモは葉や根がはっきりと区別できますが、ワカメは葉、茎、根の区別がわかりにくい。また、アマモは花を咲かせ種ができますが、ワカメは孢子で増えていきます。

生えている場所も違います。砂泥の干潟に生えるアマモに対して、ワカメは磯などの岩に定着します。

アマモでもワカメなど海藻でも、群落になって生えているところを「藻場」と呼びます。藻場はたくさんの生物が生活する場となるだけでなく、海水をきれいにして沿岸の環境を守る大きな役割もあります。

アマモを移植したり、ワカメ・コンブを養殖して海を豊かにする試みは、各地で行われています。



三番瀬・海辺のボランティア講座 第10回報告書

ワカメで海をきれいにしよう

1. 日時、場所

実施日／平成22年12月18日（土）

時間／9：30～12：30

場所／三番瀬塩浜案内所 三番瀬人工干潟沖

2. 参加者

海辺のボランティア 5名

NPO三番瀬 4名

講師 1名（市川市行徳漁業協同組合アサリ研究会）

3. スケジュール

時間	内容
9：30	三番瀬塩浜案内所に集合 レクチャー
10：00	行徳漁協前に集合 ワカメの種付け
11：00	船で人工干潟沖へ ワカメのロープを張り出す作業を見学
12：00	帰港 三番瀬塩浜案内所へ
12：15	レクチャー、まとめ
12：45	解散

4. 当日の様子



ワカメの芽を5cmくらいに切ります



それをロープにしっかりと挟み込みます



こんな感じです



1分間隔で挟み込んでいきます



水中にロープを張ります



作業している様子を船に乗って見ました